

フリーデンってどんな会社かな？

南金目にあるフリーデンには約束の時間よりちょっと早く到着。すると、「君たちが豆記者？」と出迎えてくれたのは、何と社長の八日市屋さん。三人ともいきなり緊張しまくります。でも、社長さんにはっこり笑って「約束の時間より前に来ることはとても大切なことなんだよ」って言ってくれました。何だか、記者としての第一関門をクリアした気分です。案内された部屋の中を観察すると、

ソーセージを作ったよ!

かぶしきがいしゃ 株式会社フリーデンに潜入取材



このソーセージ、大きいでしょ

ソージを作っている会社だから、きっと機械で作っているんだろうと思っていたのに、この部屋では四十人くらいの人たちが、一つ一つ心を込めて作っていました。

てから、いよいよウインナーソージを作らせてもらいました。すりつぶした肉が詰まった、長さ一メートルくらいの「羊の腸」の両端を結び、途中をクルクルとねじって鎖みたいにしばっていくと、ウインナーソーセージの形ができていきます。見ていたときは簡単そうだったけれど、いざ自分でやると結構ムズカシイ！冷たくてツルツル滑るので、初めは腸の端っこを普通にこぶ結びすることもできませんでした。しかも、あまり時間をかけすぎると手のひらで温まって鮮度が落ちてしまうそうです。でも、慣れてくるとみんなだ



食（た）べることが大好きなわたしたち三人は、取材前からワクワクしっぱなし。だって、今日は「おいしい取材」だから～。フリーデンに着く前から期待で胸がいっぱいです。さあ、頑張るぞ！



社長と握手

壁に掛けられたたくさんさんの表彰状や写真のほかに、なぜか湘南ベルマーレのユニホームやフラッグが…。なんと、フリーデンはチームスポンサーとしてベルマーレを応援している

ソーセージまでの道のりは長いよ

ソーセージやハム、ベーコンなどを作っている工場に行きました。なんと！今回は見学だけではなく、実際にソーセージ作りをさせてもらえるそうです。ヤッター。でも、その前にすることがたくさんありました。食べ物を作っている工場だから、中に入るには体をきれいにしないとイケません。みんなで白衣を着て頭にネットをかぶり、それからヘアバンドで髪の毛が出ないようにして、その上からずきんみたいな帽子をか



白衣に着替え中～す

んだんと上手になり、何とかウインナーソーセージの形ができていきました。最後に、自分たちが作ったウインナーソーセージを温めてもらい食べ

てみました。「ウーん最高！」ほかにもできたばかりのハムやソーセージをごちそうになり、大感激の取材でした。みなさんも一度食べてみてください。本当においしいですよ。

自分で作っちゃった



おいし～!

ぶりしました。そして、足には白い長靴を履きます。三人でお互いの格好を見て、ちょっと笑っちゃいました。だって、顔と手しか見えてないんですよ。そして、粘着テープのついたローラーをコロコロして白衣に付いた髪の毛や細かいごみなどを取り、壁から勢いよく空気がでる装置に入ってほこりを吹き飛ばすと、いよいよソーセージを作っている部屋に着です。

まずびっくりしたのは、フリーデンのソーセージは、ほとんどが手作りだったことです。たくさん



そっ、こんなにたくさん作るの!



上手にできたよ



ボクにもやらせてください



いろんなソーセージがあるんだね